

学習指導案の形式（例） 小学校社会科

第○学年○組 社会科学学習指導案

平成○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 単元名 ○○○○○○○○

◇まとまりをもった教育内容の単位の名称を書く。

2 単元の目標

- 「社会的事象への関心・意欲・態度」に関する目標（例：～をしようとする。）
- 「社会的な思考・判断・表現」に関する目標（例：～することができる。）
- 「観察・資料活用の技能」に関する目標（例：～することができる。）
- 「社会的事象についての知識・理解」に関する目標（例：～を理解することができる。）

◇学習指導要領で示された目標及び内容を踏まえて設定する。
◇児童の立場で書く。

3 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
例：～に関心をもち、意欲的に調べている。	例：～を考え表現している。	例：～読み取ったりまとめたりしている。	例：～について理解している。
◇評価規準の設定に当たっては、『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校 社会】』（平成23年11月 国立教育政策研究所）等を参考にして、適切に設定することが望ましい。			

4 指導と評価の計画（全○時間）

次	時	主な学習活動	評価の観点				評価規準及び評価方法
			関	思	技	知	
一	1	○例：～について話し合う。	○				○例：～している。 (評価方法)
	2	◇児童の立場で簡潔に書く。		◎			
二	1			○	○	○	
◇単元の中に、四つの評価の観点があるかを○印等で示す。 ◇評価時期を考え、バランスよく評価する。			◇毎時間の評価の観点は、一つか二つ程度に絞る。 二つの場合は、評価の観点の○印等に対応するように評価規準及び評価方法を書く。 ◇学習活動に応じて、評価規準を具体的に書く。 ◇評価方法も合わせて書く。◇児童の立場で書く。				

5 指導上の立場

- 単元観
- 児童観
- 指導観
- 研究主題との関連
- 全国・県学力調査との関連

◇指導者の立場で書く。

- ◇単元観・・・取り上げる単元の内容、既習事項との関連、今後の展開、本単元を取り上げる意義、単元・教材と児童の関係など。
- ◇児童観・・・本単元における興味・関心・意欲、単元に関する知識、既習事項の定着度など、前単元までの実態や本単元における望ましい児童像など。
- ◇指導観・・・指導・支援の力点、学習形態、仮説、その他の配慮事項など、児童のよさや可能性を生かすような工夫や手だてなど。
- ◇研究主題との関連・・・研究主題の説明を簡潔に記述。研究主題と授業研究における指導仮説との関連など。
- ◇全国・県学力調査との関連・・・現状と課題、課題についての取組について書く。

6 本時案（第○次 第○時）

(1) 本時の目標

例：～しようとする。～することができる。

- ◇単元の指導計画に即して、本時の学習活動の目標を具体的に示す。
- ◇単元の目標や評価規準との整合を図る。
- ◇児童の立場で書く。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1	<p>○</p> <p>◇学習活動に対して主となる指導・支援を書く。</p>	
◇児童の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。	◇児童の立場で書く。
2	<p>めあて</p> <p>○</p> <p>◇児童の目的意識のまとめりや活動目標など、本時のめあてを示す。</p> <p>◇本時で何をどのように学ぶかの見通しがもてるようにする。</p> <p>○例：～することで、～できるようにする。</p> <p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、工夫、手立てなどについて留意すべきことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される児童の反応 ・児童一人一人の学習進度に応じた手だて ・児童が主体的に、学習を進めるための手だて ・資料提示の機会や方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物 等 <p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。</p>	<p>◇本時の目標との整合を図る。評価の場面は1、2か所。</p> <p>◇評価規準を具体的に書く。</p> <p>◇評価の観点を書く。</p> <p>◇評価方法を書く。</p>
3	<p>○例：～を一緒に確認することで、～できるようにする。</p> <p>◇「努力を要する」状況（C）と判断される場合における児童への手だての例を示す。</p>	<p>○例：～している。</p> <p>[評価の観点] (評価方法)</p>
4	<p>まとめ</p> <p>○</p> <p>◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、めあてと対応したまとめの文章表現の例を示す。</p> <p>◇まとめは、本時の目標や学習内容に応じて柔軟に位置付ける。</p>	<p>◇評価方法の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノートの記述 ・ワークシートの記述 等
5	○	

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する児童の姿の例

- ◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿を具体的に書く。